

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月9日	記入者		連絡先	779-1110
平成18年度部名	環境事業部	課名	北清掃工場	課長名	中村
平成19年度部名	資源循環部	課名	北清掃工場	課長名	中村
事務事業名	粗大ごみ戸別収集事業				
予算上の事務事業名	粗大ごみ戸別収集事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		21220		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくれます				
基本施策名	第2節 リサイクル型社会の構築				
施策名	第2施策 廃棄物の適正処理の推進				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律ほか				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	サービス提供	▼	5 事業開始年度	平成13年度	▼
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)	(2) 対象(誰、何)				
粗大ごみ等を適正に収集し、処理するため	市民				
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。	市民から粗大ごみの排出申込を電話等で随時に受付、戸別に収集・運搬し、北清掃工場へ搬入するほか、家電4品目やリサイクル家具などをストックヤードに搬入した。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申込受付件数(電話・インターネットほか) 69,172件 ・ 収集作業件数 66,552件 ・ 粗大ごみ収集量 1,972t ・ 家電4品目収集個数 1,661個 				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	横浜市、川崎市ほか県内各市、全国各市				
8 事業費の推移	[単位：千円]				
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	181,083	182,384	193,720	197,184	197,184
一般財源	115,782	119,095	136,206	127,232	127,232
受益者負担金	65,301	63,289	57,514	69,952	69,952
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	532	531	531	531	531
事業コスト合計	181,615	182,915	194,251	197,715	197,715
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	粗大ごみ等戸別収集事業			対象名称 と単位	収集1件当たりの 事業費
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	181,615	182,915	194,251	197,715	197,715
対 象 数	63,757	64,573	66,552	66,550	66,550
単位あたり経費(円)	2,849	2,833	2,919	2,971	2,971
前 年 度 比		0.99	1.03	1.02	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	粗大ごみ戸別収集排出量（kg）	指標式と指標の説明	戸別収集1件あたりの粗大ごみの排出量（戸別収集粗大ごみ収集量÷収集件数）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	31.9	31.5	30.1		
目標	32.5	31.6	30.4	30.3	30.4
目標達成度（%）	98.2	99.7	99.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	粗大ごみ処理量（t）	指標式と指標の説明	本年度北清掃工場で処理した粗大ごみ量（戸別収集及び直接搬入された粗大ごみ）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	6059.0	6218.0	6375.0		
目標	6684.0	7285.0	7886.0	8488.0	9089.0
目標達成度（%）	90.6	85.4	80.8		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		平成13年7月より、現在の全量個別有料制を実施し、これに併せて受付から収集作業まで、受付システムを取り入れた民間委託を導入している。日々の業務は順調に遂行されており、委託している受付業務、収集業務において市民とのトラブルもほとんどなく、満足されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
家電リサイクル法や資源有効利用促進法など、ごみの減量に有効な法整備が進むが、市民からは、排出方法が面倒だという声が高い。これが不法投棄を招く要因の一つとも考えられる。減量化施策の実施やごみ減量の意識を高めるなど、各家庭・個人の排出量の削減と併せ、受付時間の延長など、排出しやすい戸別収集のしくみを検討していく。			手数料の見直し。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			